

今月の特産野菜は、山形おきたま伝統野菜に認定されている「小野川豆もやし」です。米沢市小野川地区に伝わる在来の小粒大豆を用い、冬季間に温泉の熱を利用する昔ながらの方法で作られています。手作業のため生産量は極少量ですが、大豆もやし特有の食感と風味をもち、地元で根強い人気があります。(農業技術普及課)



## 特集

### 桜満開! 冬のブライダル 啓翁桜フェア

置賜を代表する花のひとつである「啓翁桜」の活用機会の創出・産地知名度の向上を図るため、1月25日(水)、グランドホクヨウ(米沢市)において、「啓翁桜フェア」を開催しました。



当日は、啓翁桜を贅沢に使いながら、和を基調としたブライダル会場を華やかに装飾し、結婚を控えたカップルやその家族など、大勢のお客様をお迎えしました。

昨年に引き続き2回目となる「啓翁桜結婚式」ですが、今回は、主役である新郎新婦が座るメインテーブルの後ろに啓翁桜を飾花し、主役を引き立てるアレンジが特徴でした。

来場されたお客様は、メインテーブルに座り記念写真を撮るなど、満開の桜を存分に楽しんでいただいたようです。また、2~3月に結婚を控えられている来場者の方からは、啓翁桜を自分たちの結婚式で使いたいとの要望をいただき、さっそく生花店と相談されるなど、具体的な啓翁桜の活用拡大につながる非常に有意義な機会となりました。

これからも、置賜の冬のブライダルの定番となるよう啓翁桜の魅力を発信し続けていきたいと思えます。



◎農業振興課 0238-26-6051

## お知らせ 除雪作業の安全対策について

◎総務課 0238-26-6007

### 屋根の雪下ろしや除雪作業に注意しましょう!



置賜総合支庁管内では、屋根の雪下ろしなど除雪作業中の事故が、大雪であった昨年と同様に大変多くなっています。【置賜地区人身被害(1/31現在): 平成23年度50件(内転落36件)、平成22年度50件(内転落37件)】

これからの降雪に伴い、更に雪に関係する事故が増えることが予想されますので、次に掲げる安全対策の徹底をお願いします。

- ※ 屋根の雪下ろしを行う際は、はしごを固定し、命綱をつけるなどにより転落を防止するとともに2人以上で作業を行ってください。また、電線や電話線を切断しないよう注意してください。
- ※ 落雪や雪の重みにより、LPガスのボンベや器具のホースが壊れ、ガス漏れを起こすことがありますので十分注意してください。また、除雪の道具などで破損させないようにしましょう。
- ※ 除雪機の回転部分には近寄らないでください。雪が詰まったときはエンジンを確実に止め、ローターの停止を確認してから雪を取り除いてください。
- ※ ローターはエンジンを切った後でも惰性で回転します。詰まった雪を手や足で取り除くことは絶対に行わないでください。

#### 「安全な雪下ろしのポイント」

- 屋根の雪のゆるみに注意
- 使いやすい除雪器具の使用
- 安全な服装での作業
- 2人以上で作業
- 命綱の使用
- 無理な作業はしない
- はしごはしっかり固定
- 足場にはいつも注意

山形県では、日中の気温の上昇により屋根が滑りやすくなる恐れがある時などに発表する「山形県雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」や、安全な雪下ろしのポイントや動画を県ホームページ「こちら防災やまがた!」

<http://www.pref.yamagata.jp/bosai/index.html>に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

# 地域のために ～歩道除雪ボランティア～



この人に聞く

## 遠藤 晴美

### 東山歩道除雪隊 代表（飯豊町添川在住）

飯豊町は、県内でも有数の豪雪地帯です。平成6年には猛吹雪で道路が通行不能になり、立ち往生した車の中で待機していた方が死亡する惨事も起きました。当地区も当然ながら大雪と地吹雪で悩まされていました。

15年ほど前、歩道が雪で覆われていたため、やむなく車道を歩いていた通学途中の児童の列に、スリップした車が突っ込むという事故が起こり、1人の児童が巻き込まれて怪我をしました。このときは幸い軽傷で大事には至りませんでしたが、その後、保護者らは町などに対し、常時歩道を除雪してもらえようという要望を続けてきました。そんな折、町から「除雪機械を地区に提供するので、地区の方々で除雪できないか」と提案がありました。そして、飯豊町で最初の活動組織である「東山歩道除雪隊」がスタートしたのです。

東山歩道除雪隊は、地域学童の通学路確保と地域の方が安全に徒歩移動することを目的とし、地区の保護者を中心とした有志(20名)で活動を行い、今年で12年目を迎えます。燃料や消耗品は町が負担し、人的なものは「地域ボランティア」が担当します。

真冬に早朝5時からの作業は厳しく、除雪機がなかなか前に進まない大雪の日や、猛吹雪の中、吹きさらしの道を這うように進む日もあります。また、それぞれ自宅の除雪や仕事へ向かう必要がある時に、作業に当たってくれる隊員達には本当に頭が下がる思いです。

それでも、今、東日本大震災で多くの方が苦勞している中、少しでも自分たちができる事にみんなで取り組み、続けていくことの大切さを改めて感じています。昨年度、日本道路協会から表彰をいただきましたが、見返りを求めてやっているのではないと有志全員が思っています。

飯豊町内でもその後、同様の組織ができて活動していますが、もっとその輪が拡大することを願っています。



#### \* 道路功労者表彰 \*

道路事業に貢献され、その功績が顕著な団体または個人を、社団法人日本道路協会会長が表彰しているものです。

飯豊町の東部に位置する東山地区は、旧国道113号沿い(現町道添川線)に集落があることから、冬期間の小中学校への通学路確保を目的に、約1.6kmについてボランティア活動で除雪作業を行っています。

このことで、安全な歩行空間が確保され、交通事故防止が図られるとともに、地域の人たちが作業し、見守ることで子供たちの犯罪被害の防止にも大きく貢献しています。

## イベント「おきたま 酒蔵・ワイナリー 見学&スタンプラリー」



山形おきたま観光協議会では、「おきたま酒蔵・ワイナリー 見学&スタンプラリー」を開催しています。現在、置賜地域で展開している冬の観光キャンペーン「山形おきたま 冬のあった回廊」の一環として、2月29日(水)まで実施しています。

置賜地方では、各地に伝統ある酒蔵が点在しているほか、南陽市と高島町の「ワイン」、飯豊町の「どぶろく」など、多彩なお酒が楽しめます。こうした各地の銘酒をお楽しみいただくため、見学とスタンプラリーを組み合わせました。

置賜地域の酒蔵・ワイナリーなど14施設において、事前予約制で酒蔵の見学や試飲をお楽しみいただけるほか、2箇所以上のスタンプを押してご応募いただくと、抽選で地酒やワイン、漬物セットなどをプレゼントいたします。

参加施設や置賜地域の主な観光施設に設置している左の表紙のパンフレット(兼)応募ハガキをお持ちになり、置賜の酒蔵めぐりをお楽しみください。

参加施設の情報など詳細は、パンフレットか「山形おきたま 冬のあった回廊」ホームページをご覧ください。



ホームページアドレス：  
<http://winter.oki-tama.jp/>

冬はおきたま

検索

◎山形おきたま観光協議会(置賜総合支庁観光振興室内) 0238-26-6046

### ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは・・・

- ◆ 手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖して、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛等を起こします。
- ◆ 症状は1～2日程で治まり、後遺症の心配はありません。



### かかってしまったら・・・

- ◆ 下痢がひどいときは脱水症に注意し、こまめに水分を摂取しましょう。
- ◆ 症状が治っても、便の中には1週間程度ウイルスが排出されます。家族内での感染を予防する意味でもしばらくは入浴を控え、シャワーのみにしましょう。

### 予防するには・・・

- ◆ 石けんによる手洗いを徹底しましょう。特にトイレの後、調理や食事の前、嘔吐物(排泄物)処理の後には必ず行いましょう。
- ◆ 食品は、中心温度が85℃以上で1分間以上の加熱を行いましょう。



### 保健だより

## スギ花粉 今春は少ない!飛散

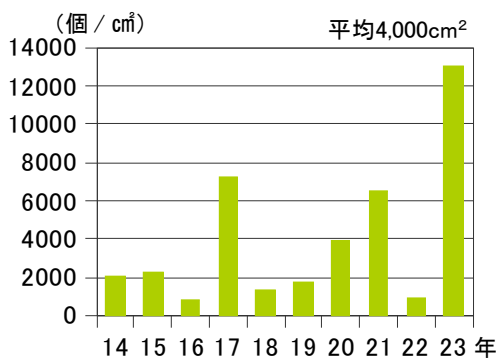
春が待ち遠しいこの頃ですが、スギ花粉症の方は気になる時期ですね。

検査課では昭和63年から毎日スギ花粉数を測定し、スギ花粉予報のためのデータを提



スギ花粉の顕微鏡写真 (直径30μm)

### 過去10年間のスギ花粉飛散数(米沢市)



提供しています。今年も2月中旬から飛散終了まで測定を実施します。この10年間のスギ花粉飛散数(左図)をみると、多い年と少

ない年があり、昨年は観測を始めて最高の飛散数(13,009個/cm<sup>2</sup>)でした。新たにスギ花粉症に罹った方も多かったのではないのでしょうか。

翌年の飛散数は、スギの木についての雄花の花芽量で予想できます。検査課で行った昨秋の調査では、前年の1割程度しかついていませんでした。先日衛生研究所から出されたこの春の飛散予想は、米沢市で「1,000～2,000個/cm<sup>2</sup>」とのこと。しかし安心はできません。飛散前から医師に相談し治療を受け、早めの対策で重症化を防ぎましょう。

㊟置賜保健所 検査課 0238-22-3001

### シリーズ 置賜の宝 No.10 ～ 飯豊のどぶろく ～

㊟地域振興課 0238-26-6021

### 「どぶろく」と「どぶろく特区」とは

どぶろくとは、炊いた米に米麴や酒粕等に残る酵母などを加えて作るお酒で、濁り酒(にごりざけ)とも言われる白く濁ったお酒です。

どぶろくの語源は定かではありませんが、平安時代以前から米で作る醪(もろみ)の混じった状態の濁酒のことを濁醪(だくらう)と呼んでいたのが訛って、今日のどぶろくになったと言われています。

どぶろくは、米を使った酒類では最も素朴な形態の物と言われ、これを沈殿濾過することで清酒を作ることも可能ですが、清酒になる程には濾さずに飲用します。清酒に比べ濾過が不十分であるため、未発酵の米に含まれる澱粉や、澱粉が分解した糖により、ほんのり甘い風味があります。アルコール度数は、清酒と同程度の14～17度にもなります。

現在は、酒税法に基づく酒類となっているため、醸造にあたっては関係当局への許可申請が必要となっており、許可を得られれば、どぶろくの醸造を行うことができます。

豊穰祈願などの宗教行事や地域産品としてのどぶろくを製造する地域は日本各地に存在します。このようなどぶろく



飯豊のどぶろく

作りは、地域振興の関係から、平成14年の行政構造改革によって、構造改革特別区域が設けられ、その区域内ではどぶろく製造と、飲食店や民宿等で、その場で消費される場合に限り、販売も許可されています。飯豊町は、この通称「どぶろく特区」に平成16年3月に認定されています。

### 置賜の「宝」ホームページでは

「どぶろく特区」である飯豊町でどぶろく杜氏として活躍されている方々にお集り頂き、どぶろくについて語って頂いた『どぶろく杜氏座談会～どぶろくと語る』の様子をご紹介します。杜氏の方それぞれのどぶろくへの想いや、開発の苦労話、どぶろくを通じた地域の未来についての話など、どぶろくの魅力たっぷりの内容になっています。

詳しくは、置賜の宝ホームページ<http://okibun.jp/>(食べ物カテゴリ「どぶろく杜氏座談会」)をご覧ください。

# お知らせ

## 置賜文化ホール自主事業「桂歌丸独演会」

第1回「伝国の杜新春寄席」以来、10年ぶりの高座です。60年の噺家人生、古典に重きをおく、落語芸術協会会長。日本文化の担い手としての誇りを胸に、落語界のみならず多方面で活躍しています。歌丸師匠の落語、どうぞお楽しみください。



- 日時  
平成24年2月19日(日)  
開場13:30 開演14:00  
※ 開演時刻が当初の18:30から14:00に変更となりました。

- 会場  
伝国の杜 置賜文化ホール  
(米沢市丸の内1-2-1 TEL.0238-26-2666)
- 料金 : 全席指定 3,500円(当日4,000円)  
(チケット取り扱い:伝国の杜)

◎地域振興課 地域振興担当 0238-26-6021

## 森林の所有者届出制度が4月からスタートします

昨年4月の森林法改正により、今年4月以降に森林の土地所有者となる方は、市町村長への事後届出が義務付けられます。

### ■ 届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外です。

### ■ 届出期間

土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村の長に届出をしてください。

### ■ 届出事項

届出書には、届出者と前所有者の住所氏名、所有者となった年月日、所有権移転の原因、土地の所在場所・面積とともに、土地の用途等を記載します。添付書類として、登記事項証明書(写しも可)又は土地売買契約書など権利を取得したことが分かる書類の写し、土地の位置を示す図面が必要です。

※詳しくは、森林整備課普及担当(電話0238-26-6063)、または市町村の林務担当までお問い合わせ下さい。なお、上記の内容は平成23年12月段階の検討内容です。

◎森林整備課 普及担当 0238-26-6063

おきたまスリーナイン

お知らせ 0999通信

◎置賜消費生活センター 0238-24-0999



## ご注意！高齢者を狙う「利殖商法」ハイリスク・詐欺まがいの金融商品取引・うまい話は要注意！

### 事例（社債の購入）

DM(ダイレクトメール)で太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーを扱うX社の資料が届いた。

後日、別のC社から「X社の社債があれば、数倍の値段で買い取りたい」など、購入意欲をおおる電話があった。その後、X社から電話があり、X社の社債購入を勧められ数百万円購入し、幾度か勧められるがまま高額な社債を追加購入した。しかし、高額で買い取ると電話のあったC社とは連絡が取れなくなった。

### ■ひとことアドバイス■

利殖商法とは、「値上がり確実！」「必ずもうかる！」など、利殖になることを強調して投資や出資を勧誘する商法です。

出資先の事業内容はバイオテクノロジーやエコロジー、エネルギーなどを連想させるものが多く、契約後は業者と連絡が取れなくなるなど、出資金の払い戻しができない場合がほとんどで、被害の回復が困難です。未公

開株、社債、商品相場、海外の通貨、事業への投資話など、普段は馴染みの薄い利殖の話をお勧められます。

社債や未公開株は、元本・利益は保障されておらず、むしろリスクが非常に高い金融商品です。それにもかかわらず、「絶対にもうかる」などと勧める勧誘は、きっぱり断り、自分から電話を切りましょう。

利益が上がる仕組みが分からない話には乗らないことが大事です。

## = その他のイベント =

日	曜	時間	行事名	会場等	主管課	電話
1	水	11:00	おきたま雛回廊オープニングセレモニー	伝国の杜	観光振興室	0238-26-6046
23	木	9:00	山形県木炭品評会・木炭講習会	飯豊町中部活性化センター	森林整備課	0238-26-6063
		10:15	やまがたイクメン応援プロジェクト推進事業「高校生のための子育て理解講座」	県立高島高等学校	福祉課	0238-26-6027

### 発行元

置賜総合支庁 総務企画部 総務課 総務係  
TEL 0238(26)6004  
FAX 0238(24)1402  
ご意見・ご感想をお待ちしております。

### あとがき

今月は、置賜各地で雪のお祭りが開催されます。長井・南陽は雪灯り、高島は雪の中でお花見、米沢は雪灯籠、飯豊では雪像のライトアップ。雪と灯りが織り成す幻想的な光景が広がります。ござっとこやえ〜。